

番号	タイトル	種類 上映時間	内 容
N-1	激動と決断の年 1945 - Year of Decision	カラー 28分	ヤルタ会談、ポツダム宣言を経てヨーロッパ戦線で終局を迎えた第二次世界大戦は、1945年8月に日本に対する原爆投下で幕を閉じた。その間、国際連合の礎を築くサンフランシスコ会議が開催され、新たな平和による世界統一の機運が高まった。当時の貴重なフィルムをもとに、国連設立前後の国際情勢を描く。(国連 1971年)
N-2	ナミビア - 裏切られた信頼 - Namibia: A Trust Betrayed	カラー 23分	第一次世界大戦以降のナミビア(旧南西アフリカ)の歴史をたどりながら、人種差別、少数白人による黒人への不当な支配を考える。(国連 1974年)
N-3	生き残る道 Turning Point	カラー 28分	1974年春の第6回国連特別総会ならびに1975年秋の第7回特別総会は天然資源、食糧問題を含め国連が提唱する新国際経済秩序を議題に開催された。人口、貧困、エネルギー、インフレ等が国際社会に及ぼす影響を探る。(国連 1975年)
N-4	女性の地位 Womanpower: A Woman's Place Is	カラー 28分	「ウーマンパワー・シリーズ」第3作。老人問題をはじめ社会福祉の先進国と称されるスウェーデンを取材し、男女平等が実際の社会生活でどのように生かされているかを製鉄興業労働者の家族を通して解説する。(国連 1975年)
N-5	ナミビアに自由を Free Namibia (DEC-1)	カラー 27分	旧南西アフリカとして知られるナミビアはいまなお南アフリカの少数白人政権の統治下にある。白人の移住者、実業家のインタビューは、自らの裕福な生活とそれとは対照的に人間以下の生活を余儀なくされている多数派黒人の姿を浮き彫りにする。国民を分断する非人道的なアパルトヘイトと民族解放運動、SWAPOの成長ぶりを紹介する。SWAPOの代表は残虐な抑圧政策からの自由をめざして不屈な闘いを展開する決意を表明する。(国連 1978年)
N-6	明日の世界を描く Design for a Better World	カラー 20分	コンピューター・アニメ手法により、国連切手の図案となっている児童の福祉、平和維持、保健、農業などの国連の活動を再現する。(国連 1979年)
N-7	アパルトヘイトの国 -南アフリカ- Last Grave Dimbaza	カラー 57分	アパルトヘイトをとる南アフリカ政府は黒人男性労働者を都市周辺の掘っ立て小屋(労働キャンプ)に住まわせている。彼等が何百マイルも離れたバンツースタンと呼ばれる居留地に隔離されている家族と会えるのは、年にわずか一ヶ月である。すべての面で差別されている黒人の生活を通してアパルトヘイトの非人道性をみる。(国連 1980年)
N-8	抵抗の世代 Generations of Resistance (DEC-2)	カラー 52分	南アフリカのアパルトヘイトとこれに対するブラックナショナリズムの台頭を歴史的に描写。(国連 1980年)
N-9	共に生きる世界 It's the Same World (UN-7)	カラー 20分	世界各国の障害者の姿をとらえ、国際障害者年のテーマである「完全参加と平等」を強く訴えた感動的なフィルム。「障害者の世界は特別なものではない。障害のある人もない人も、みんな同じ世界に住んでいるのだ……」。(国連 1981年)
N-10	水をもとめて Journey for Survival (D-2)	カラー 15分	「1990年までに世界のすべての人々にきれいな飲み水を」。飲料水を得るためにの苦労から、問題解決のための自助努力を描く。(国連 1981年)
N-11	間(はざま)に立つ男たち The Man in the Middle	カラー 26分	中東の平和を維持するために派遣されている国連レバノン暫定軍(UNIFIL)の活動を通して、国連平和維持軍の意味を探る。(国連 1982年)

番号	タ イ ト ル	種類 上映時間	内 容
N-12	国連ってなあに The UN Is for You (UN-9)	カラー 14分	国際連合の目的、仕組み、活動について、小学生向けにわかりやすくユーモラスに説明。(国連 1982年)
N-13	パレスチナ'83 The Palestinians of 1983 (HR-1)	カラー 26分	1982年6月、イスラエルの南レバノン侵攻後のパレスチナ難民の状況と、ベイルートの虐殺と生存者の経験、西岸の新しいユダヤ人入植地などをとりあげ、この困難な状態に対するパレスチナ人、ヨルダン人、イスラエル人の意見を紹介する。(国連 1983年)
N-14	人と木 -砂漠と闘うサヘルの民- Tree of Survival	カラー 20分	10年前大かんばつに見舞われたアフリカのサヘル地域では、いまなお砂漠化が進行している。これを食い止めるために植えられる木は、人びとにとって唯一のエネルギー資源でもある。国際的な支援を得て砂漠化と戦うサヘルの人びとの姿を描く。(国連 1984年)
N-15	なぜ国連か Why?	カラー 22分	40歳を迎えた国連。戦争による荒廃からの再建、非植民地化、社会経済開発、平和維持、アパルトヘイト、ナミビア問題等への取り組みの紹介を通して、戦後の世界におけるその役割、責任ならびに業績をふり返り、「より良い世界」の創造をめざす国連への疑問に答える。(国連 1985年)
N-16	日本と国連 -より良い世界をめざして- Japan and UN	カラー 20分	国際平和年および日本の国連加盟30周年を記念して、国連広報センターが製作。平和、人権、開発をはじめ国連の活動の歩みについて日本とのかかわりを通して歴史的に描写。(国連広報センター 1986年)
N-17	平和への序曲 Prelude to Peace	カラー 19分	パレスチナ問題の歴史、国連の取り組み、UNRWAの創設とパレスチナ難民に対する援助について紹介する。(UNRWA 1987年)
N-18	パレスチナ難民は今 Palestinian Refugees Today	カラー 14分	ヨルダン西岸地区、ガザ、アカバなどの難民キャンプに住む現在のパレスチナ難民の状況とUNRWA(国連パレスチナ難民救済事業機関)の活動を紹介。日本政府はUNRWAへの財政援助のほか食糧も提供している。(UNRWA 1987年)
N-19	水と生活 Our Water, Our Lives	カラー 30分	「国際飲料水の供給と衛生の10年」関連フィルム。人間にとて最も大切な資源である水の確保をめぐるさまざまな問題を、ネパール、インドネシア、マリなどにみる。(国連 1988年)
N-20	平和の戦士 -国連平和維持軍- Soldiers for Peace (PK-2)	カラー 27分	1956年の派遣を皮切りに、国連軍はもっとも危険でやっかいな場所での任務についている。アフガニスタンの和平協定、イラン・イラク戦争の停戦決議の監視を目的に1988年二つの国連軍監視団がその任務についている。ノーベル賞選考委員会は平和の維持と安定のために40年間危険な地域での任務についている国連平和維持軍にノーベル平和賞を授与した。(国連 1988年)
N-21	平和を求めて-国連の挑戦- UN Peacemaking (PK-4)	カラー 30分	国連事務総長の不可欠な任務の一端を示す“静なる外交”はめったに新聞の一面を飾ることはない。1988年世界の国々はアフガニスタン和平協定とイラン・イラク戦争の停戦工作に成功に導いた国連に可能性の期待を再認識した。二つの調停工作に携わった人達へのインタビューをまじえながらその苦労を聞く。(国連 1988年)
N-22	ようこそ国連へ -みんなの世界- On Common Ground : A Tour of the UN(UN-16)	カラー 30分	国連本部のガイドを通して、国連40年の歴史とその目的である国際の平和および安全、人権の尊重を説明し、各国連機関の活動を紹介する。(国連 1989年)
N-23	目標に向かって UNRWA -Serving with a Purpose-	カラー 24分	1948年におきたアラブ・イスラエル戦争の翌年に設立された国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)は教育、保険、医療、衛生、社会サービスを行っているその活動を紹介。(UNRWA 1990年)

番号	タ イ ト ル	種類 上映時間	内 容
N-24	すべての人に教育を -世界寺子屋運動にむけて- International Literacy Year, 1990 (SC-8)	カラー 14分	1990年は「国際識字年」。世界総人口の5分の1にあたる10億の人たちが読み書き出来ないでいる。国連教育科学文化機関(UNESCO)は2000年までに1)初等教育の普及、2)成人教育の普及をめざしている。(UNESCO 1990年)
N-25	美しい惑星 -宇宙飛行士の見た地球- Our Planet Earth (HE-6)	カラー 22分	20年前に宇宙飛行士が見た地球は蒼く、神秘的な美しさを秘めたものであった。今、地球は熱帯林の破壊で赤茶けた土砂は川に流れ出し、開発のためアマゾンの原生林を焼く煙が地球全体を灰色におおっている。(国連 1991年)
N-26	パレスチナ難民と共に生きて -UNRWAの医療プログラム- Caring for People	カラー 14分	UNRWAの活動は逆境と不安定の下におかれているパレスチナ難民の日常生活の中で医療、集団予防接種、妊婦、乳幼児への母子医療サービスに重点がおかれている。(UNRWA 1991年)
N-27	より良い未来のための国連 UN for a Better Future (UN-19)	カラー 27分	最近の国連の全般的な活動、麻薬、アパルトヘイト、難民、平和維持活動等を幅広く紹介。(国連 1991年)
N-28	夢と希望 -国連薬物乱用防止の10年- High Hopes (HE-7)	カラー 27分	世界のほとんどの国が麻薬の乱用、不正取引の危機に見舞われている。コカの木を栽培しなければ生活できない農民に代替作物を奨励、ニューヨークのサウスブロンクスに住み麻薬中毒から立ち直ろうとする若者たちを取り上げる。(国連 1991年)
N-29	自然災害への人類の挑戦 -国際防災の10年をめぐる取り組み- Up Against Nature (HE-8)	カラー 27分	国連は1990年代を「国際防災の10年」に指定。毎年洪水に見舞われるバングラデシュでは非難用シェルターの建設、火山国コロンビアではハザードマップを作成し火山噴火による土石流の方向を正しく理解させ、自然災害による人命の損失、財産の損害を減少させることを目的としている。(国連 1991年)
N-30	道を拓く -世界の女性はいま- Making Their Way (W-7)	カラー 27分	1985年のナイロビ会議で「国連婦人の10年」が終了。数年を経過した現在、女性の地位は向上しているのであるか。レソト、チェコスロバキア、エクアドル、ノルウェー、シンガポールの5カ国の女性の現状を探る。(国連 1991年)
N-31	子供の権利 About the UN : Rights of the Child (HR-11)	カラー 16分	国連総会は1989年11月20日、「児童の権利条約」を採択。これは子どもの尊厳、生存、保護、発達等の権利を認めるものである。世界の子どもたちのおかれている状況を示しながら各条項について説明。(国連 1991年)
N-32	ひろげよう人権の輪を New Horizons for Human Rights (HR-12)	カラー 26分	人権分野において緊急を要する新たな問題として、エイズ患者、感染者に対する差別、 Chernobyl原発事故後、放射能汚染地域に住む人々の健康管理と保護、先住民の権利等がある。(国連 1991年)
N-33	こどもたちと地球の未来 About the UN : Environment and Development(HE-11)	カラー 20分	国際環境開発会議(UNCED)がブラジルのリオデジャネイロで1992年6月3日から14日まで開催された。歌手のオリビア・ニュートンジョンがタイの再植林の様子、ポーランドとバルト海沿岸の深刻な海洋汚染を通して環境保護を訴え、この会議の重要性を説明。(国連 1992年)
N-34	模擬国連 The Model UN (UN-22)	カラー 14分	「Model UN」は大学生や高校生の間で親しまれている課外活動の一つである。国連の幅広い活動を徹底的に調査し、学生が各加盟国の代表となり共通の解決方法をさぐりながら討論するもの。実際の国連の活動をシミュレーション化したものである。(国連 1993年)

番号	タ イ ト ル	種類 上映時間	内 容
N-35	国連のはたらき(日本語のみ)	カラー 56分	国連の6つの主要機関(総会、安全保障理事会、経済社会理事会、信託統治理事会、国際司法裁判所、事務局)の働きとその関連国際機関(世界保健機関、ユネスコ、ユニセフ、国連大学)等の働きも紹介する。日本人職員(明石康さん、緒方貞子さん)の活躍もみられる。(日本経済協力センター 1993年)
N-36	家族とは Honey, I 'm Home (HR-17)	カラー 30分	1994年は「国際家族年」。世界には様々な家族が生活している。このビデオはそれぞれ非常にちがった家族が厳しい環境の中で精いっぱい生きている様子を紹介する。1)リオデジャネイロのスラム街に住むエスペディタさん一家は、それぞれの子供をつれての再婚同士で12人家族である。2)マニラの郊外に住むロバートさん一家。生活が苦しいため妻はマレーシアへ出稼ぎへ。父親は母親の役目もこなす一人二役である。3)アフガニスタン北部の難民キャンプ。タジキスタンから逃ってきた難民の家族で、一番上の嫁いだ娘ティラーが自分の子供と弟たちの面倒を見ながら生活している。4)コリンはイギリスに住む未婚の母で、美容院を開きながら二人の子供を育てている。彼女の描く理想的な家族とは「両親が揃っていないとも、みんなが良く理解し合い、楽しい、笑いの絶えない家族」である。(国連 1994年)
N-37	共通の目標 A Common Goal (UN-24)	カラー 14分	子供たちのサッカーゲームを通して国際連合の動きと国際社会のルールを紹介する。小、中学生むけビデオ。(国連 1994年)
N-38	パレスチナ苦悩の100年 Palestine 1980s -1990s	カラー 50分	苦悩、憎しみ、復讐そして死。2つの民族が1つの土地を獲得するために闘ってきたパレスチナ難民の100年の歴史をたどる。19世紀の終わりから、第一次世界大戦、第二次世界大戦、国際連合の創設、中東戦争、イスラエル占領下のパレスチナ難民の生活、インティファーダ等パレスチナ難民の様子を歴史的に学習するには最適である。(国連 1995年)
N-39	今、なお社会の一員として Portraits of Age (HR-16)	カラー 29分	現在、毎月100万人が60歳になり。その中でも80歳を超える高齢者の数が急速に増加している。80歳を超える6カ国の高齢者にスポットを当て、それぞれが社会の中で自分の担う役割をどのようにこなしているかを紹介。漁師(インド)、エイズで親をなくした孫たちの親がわり(ウガンダ)、政府の年金政策を糾弾する活動家(アルゼンチン)、民族舞踏家(カンボジア)等。(国連 1994年)
N-40	世界中のすべての人々のために -世界人権宣言のできるまで- For Everyone Everywhere(HR-21)	カラー 28分	第二次世界大戦の悲劇の中から生まれた人類の最も高邁な理想の1つである世界人権宣言。「人権」という考え方がどのようにして生まれたのか、また真に普遍的な文書を作成するために国際社会がどのようにして言葉、文化そして冷戦の障壁を乗り越えて来たかを明らかにするドキュメンタリー・ビデオ。50年もの間埋もれていた貴重な映像の数々が収録されている。(国連 1998年)
N-41	国連平和維持軍 -その歴史的変遷と今後の課題- No Place to Hide (PK-10)	カラー 50分	今世紀最大の偉業と賞賛される一方、贅沢な愚行とも非難される国連平和維持軍。「ブルーヘルメット」と呼ばれるこの国連平和維持軍は、どのような背景のもとに創設されたのか、又その将来はどうなるのか。こうした問題に平和維持活動の創設者の一人であり、1970年代と1980年代に国連平和維持軍の責任者であったイギリス生まれの作家兼外交官、ブライアン・アークハート卿が、50分に及び答えるドキュメンタリー・ビデオ。(国連 1995年)

番号	タイトル	種類 上映時間	内 容
N-42	一分のすきもなく武装して -世界にはびこる小型武器の現状- <i>Armed to the teeth</i> (DIS-3)	カラー 28分	世界には、全人口の12人に一人が手にすることができるほど、多くの銃が存在する。小型武器の不正な取引が広まり、特に子どもたちがこうした小型武器を容易に手に入れることができる現状に焦点を当てたドキュメンタリー・ビデオ。(国連 2000年)
N-43	戦争の傷あと <i>Legacies of War</i> (DIS-4)	カラー 31分	戦争が残した影響は、戦争が行われた期間と同じくらい長引く問題であり、和平協定などで戦争が終結しても、その影響はすぐさま消えるわけではない。実際の戦闘が終っても、深く大きな傷あとが何の関係もない一般市民に残る。残された爆弾、地雷による身の危険、戦争が残した社会崩壊…。このような戦争の傷あとから立ち直ろうとする市民たちのドキュメンタリー・ビデオ。(国連 2000年)
N-44	現実と明るい未来に向けて - アフガン女性の声 - <i>Realities and Opportunities</i> - <i>Voices of Afghan Women</i> (W-10)	カラー 6分	20年に及ぶ内戦のために荒れ果てた国土。ソ連軍、ムジャヒディーン、タリバーンが次々とやって来ては去り、祖国は踏みにじられ、人権が無視されるのを目のあたりにしてきたアフガニスタンの女性達。それでも誇りを失わず、闘う心を持ち続けたアフガン女性の希望に満ちた声の数々を収録。(国連 2002年)
N-45	国際連合 - 全ての人のために - <i>The United Nations: Working for Us All</i> (UN-36)	カラー 14分	平和維持、人道援助、経済開発支援など、幅広い国連の活動を国連諸機関の紹介を通してわかりやすくまとめたビデオ。国連ピース・メッセンジャーのマイケル・ダグラス氏がナレーションを担当。(国連 2004年)
N-46	国連安全保障理事会 - 平和の維持 - <i>The U.N. Security Council: "Keeping the Peace"</i> (PK-11)	カラー 15分	近年で最も劇的な対立を目撃し、世界の何百万人の生活に影響する国連安全保障理事会。それは、第二次世界大戦の末に創設された平和と安全を目指す国際社会の根本原理でもあります。その歴史を足早に紹介しながら、安保理がどう機能し、どう変革してきたか、そして不可欠でありながらも、時に争論の的となるその組織が立ち向かう挑戦を概観する。(国連 2004年)